

学科試験問題40問の見本です。参考程度にご覧下さい。  
なお、この問題の内容に対する解答やご質問にはお答えできません。

## 特殊小型船舶操縦士学科試験

問題	I
----	---

受験番号	
------	--

### 【注意事項】

1. 各問題の解答は、必ず別紙解答用紙に記入すること。
2. 各問題の解答は、4つの選択肢のうちから1つだけ選ぶこと。

### 【受験科目及び試験時間】

受有している免許	受験科目	試験時間
無し	全科目 (問1～問40)	50分
一級、二級	運航 (問23～問40)	20分

※ 海技士資格受有者の受験科目と試験時間は別に定める。

※ 配点及び合格基準は、リーフレット(特殊小型船舶操縦士試験について)を参照のこと。

## 【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 陸上交通と比べた水上交通の特性について述べた次の文のうち、適当なものはどれか。

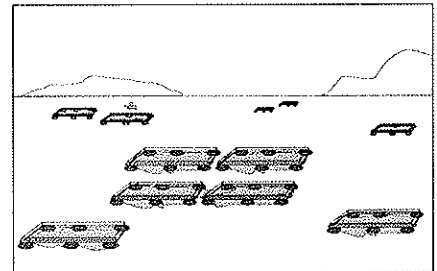
- (1) 水上では風や潮流の影響を受けるため、同じ位置にとどまることが陸上ほど簡単ではない。
- (2) 一般に、モーターボートにバックミラーやサイドミラーがないのは、水上での周囲の確認が陸上ほど重要ではないためである。
- (3) すべての水域に速力の制限がないので、まわりに他の船舶がいなければどこでも高速で航行することができる。
- (4) 陸上のようにガソリンスタンドがあちこちに設置されているので、水上で燃料が不足してもすぐに補給することができる。

問2 沿岸で操業をしている漁船に対する行為として適当でないものは、次のうちどれか。

- (1) 興味本位に近づかないようにする。
- (2) 集団で操業している場合は、早めに大きく回避する。
- (3) 操業の妨害をしないような進路をとる。
- (4) やむを得ず近づく場合は、引き波を立てて接近を知らせる。

問3 下図のような養殖施設について述べた次の文のうち、適当なものはどれか。

- (1) いかだは1つずつ浮いているので、いかだといかだの間はいつでも航行できる。
- (2) 密集して多数設置されている場合が多いので、設置水域を大きく避けて航行する必要がある。
- (3) いかだは海底に固定されていないので、設置場所は潮流の変化に応じて日々移動する。
- (4) 所有者名が表示されていないいかだには、自由に係留することができる。



問4 プレジャーボートの海難事故の発生原因として適当でないものは、次のうちどれか。

- (1) 水域調査不十分
- (2) 救命設備未搭載
- (3) 気象海象不注意
- (4) 発航前点検不十分

問5 小型船舶の船長の責任について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

(小型船舶操縦者法)

- (1) 失効した操縦免許証で船長として操縦すると、無資格運航と同一の処罰を受ける。
- (2) 操縦免許証を紛失したまま船長として操縦するときは、一定の資格を持った機関長を乗船させないと処罰を受ける。
- (3) 乗船基準に適合しない船舶を船長として操縦すると、有効な操縦免許証を携帯していても処罰を受ける。
- (4) 操縦免許証を携帯せずに船長として操縦すると、有効な操縦免許を受けていても処罰を受ける。

問6 小型船舶の船長のマナーについて述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) 暴走や見せびらかし走行といった他人に迷惑がかかる行為をしないこと。  
(B) 水域を不法に占拠したり、他人の係留施設に無断で係留したりしないこと。

- (1) (A)のみ正しい
- (2) (B)のみ正しい
- (3) ともに正しい
- (4) ともに誤っている

問7 航行予定水域の交通ルールを確認するときの問い合わせ先として適当でないものは、次のうちどれか。

- (1) その地域のマリーナやマリンショップ
- (2) その地域の地方気象台
- (3) 海上保安部や地方自治体
- (4) その地域の漁業協同組合

問8 事故を知った場合の処置として適当でないものは、次のうちどれか。

- (1) 携帯電話で連絡を受けた場合は、船位を正確に聞いてから救助に向かう。
- (2) 信号紅炎等の遭難信号で事故を知った場合は、直ちに救助に向かう。
- (3) 事故を目撃した場合は、二次災害を防ぐため、必ず泳いで救助に向かう。
- (4) 海上で事故を発見した場合は、必要に応じて「118番」に通報する。

問9 操縦免許を受けていなくても小型船舶を操縦できる場合に該当するものは、次のうちどれか。

- (1) 水上オートバイに乗船するとき (小型船舶操縦者法)
- (2) エンジンのない5トン未満の帆船に乗船するとき
- (3) 港則法に基づく港の区域を航行するとき
- (4) 海上交通安全法に基づく航路を航行するとき

問10 操縦免許証の有効期間を更新することなく満了してしまい、その効力が失われてしまった場合に、再交付を申請するにはどのような手続きをとらなければならないか。次のうちから選べ。

(小型船舶操縦者法)

- (1) 再教育講習を受講する。 (2) 失効再交付講習を受講する。
- (3) 小型旅客安全講習を受講する。 (4) 1か月以上の乗船履歴を証明する。

問11 次の①～③のうち、新規登録の際の登録事項はどれか。下のうちから正しい組合せを選べ。

①：船名                      ②：船籍港                      ③：船舶番号                      (小型船舶の登録等に関する法律)

- (1) ① ② ③                      (2) ② ③                      (3) ① ③                      (4) ①

問12 環境保全に関するルールについて述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

(A) 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律により、船舶からの油の排出が規制されている。

(B) 環境保全を目的とした条例により、航行水域や航行する時間帯が制限されている場合がある。

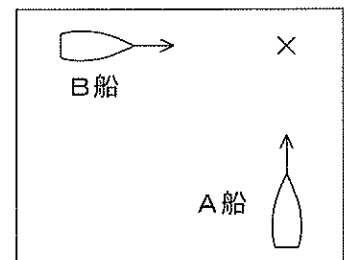
- (1) (A)のみ正しい    (2) (B)のみ正しい    (3) ともに正しい    (4) ともに誤っている

### 【交通の方法】

問13 航行中の2隻の動力船が真向かいに行き会い、衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

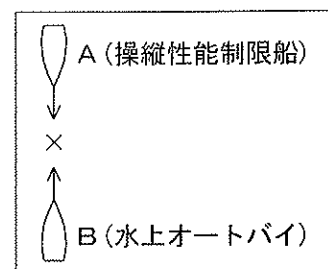
- (1) 互いに針路を右に転じる。 (2) 速いほうの船舶が、他船の進路を避ける。
- (3) 互いに針路を左に転じる。 (4) 遅いほうの船舶が、他船の進路を避ける。

問14 右図に示すように、航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り、×印の付近で衝突するおそれがあるとき、B船はどのようにしたらよいか。次のうちから選べ。 (海上衝突予防法)



- (1) そのときの針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。
- (2) 右転して、A船の船尾方向を通過する。
- (3) 速力を上げて、A船の船首方向を横切る。
- (4) 急速に短音5回以上の汽笛信号を行う。

問15 右図に示すように、航行中の2隻の船舶が真向かいに行き会い、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)



- (1) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
- (2) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。
- (3) A、Bともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
- (4) A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。

問16 衝突のおそれについて述べた次の文の( )の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。

「近づいてくる他の船舶の( )に明確な変化がないときは、衝突するおそれがあるものと判断しなければならない。」 (海上衝突予防法)

- (1) 針路 (2) 速力 (3) 方位 (4) 大きさ

問17 視界制限状態の水域で他船の霧中信号を聞いたときの行動について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。 (海上衝突予防法)

(A) 他船の霧中信号が前方から聞こえてきたときは、舵が効く最小限度の速力に落とさなければならない。

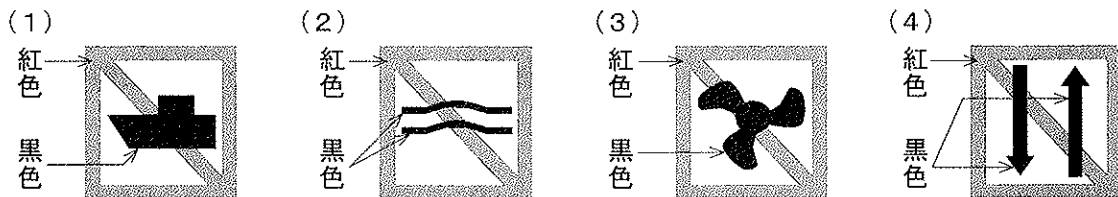
(B) 他船の霧中信号が後方から聞こえてきたときは、やむを得ない場合を除いてエンジンを停止しなければならない。

- (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問18 短音3回の汽笛信号を行っているのはどのような船舶か。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

- (1) 針路を右に転じている船舶 (2) 針路を左に転じている船舶  
(3) エンジンを後進にかけている船舶 (4) 他船の動作が理解できない船舶

問19 次の河川通航標識のうち「船舶等通航禁止」を表すものはどれか。(河川法)



問20 港内において、「港則法」と「海上衝突予防法」との規定の間に異なる解釈が生じたときは、どの法律の規定を適用すればよいか。次のうちから選べ。

- (1) 海上衝突予防法 (2) 海上交通安全法 (3) 船舶安全法 (4) 港則法

問21 雑種船の航法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。(港則法)

(A) 雑種船は、港内においては、雑種船以外の船舶の進路を避けなければならない。

(B) 雑種船は、特定港内を航行するときは、航路を航行しなければならない。

- (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問22 海上交通安全法で定められた航路における一般的な航法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

(A) 水上オートバイが航路を横断する場合は、航路を航行中の船舶の通航を妨げてはならない。

(B) 水上オートバイが航路を航行する場合は、航路に沿わず、自由に走行することができる。

- (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

## 【運航】

問23 水上オートバイを操縦する場合、船舶安全法及びこれに基づく命令により禁止されている事項は次のうちどれか。

- (1) 夜間航行 (2) 高速航行 (3) 連続航行 (4) 沿岸航行

問24 水上オートバイを操縦する場合の法定遵守事項について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 操縦する場合には、小型船舶操縦免許証の携帯が義務付けられている。  
(2) 無資格者が操縦する場合には、有資格者の同乗が義務付けられている。  
(3) 乗艇する者全員について、ライフジャケットの着用が義務付けられている。  
(4) 船舶検査証書に記されている航行区域内での航行が義務付けられている。

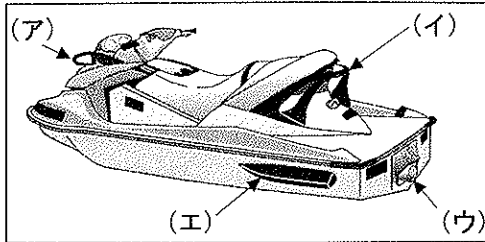
問25 水上オートバイの運動特性について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 加速性がよく、素早く滑走状態になり、高速で走行することができる。
- (B) 船尾に舵板たばんが付いていないので、舵板のある船に比べて旋回性能が低い。

(1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問26 右図は、水上オートバイを斜め後方から見た略図である。図中(A)～(エ)のうち、ハンドルバーと連動しているものはどれか。

- (1) (ア)
- (2) (イ)
- (3) (ウ)
- (4) (エ)

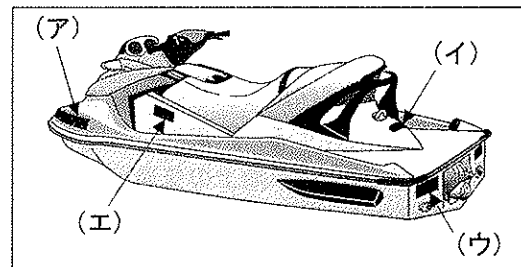


問27 操縦の基本操作について述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

- (1) 低速走行時は、スロットルを適切に操作してふらつかないようにする。
- (2) スロットルの開閉はゆっくりとなめらかにいき、急激な操作を控える。
- (3) 高速での旋回は、ハンドル操作とスロットル操作に加え、体重移動も行う。
- (4) 急減速するときは、ストップボタンで一瞬エンジンを止めてシフトを後進に入れる。

問28 右図は、水上オートバイを斜め後方から見た略図である。転覆した水上オートバイを復原する場合の回転方向を記載したステッカーは、一般的にどの位置にはられているか。図中(A)～(エ)のうちから選べ。

- (1) (ア) (2) (イ)
- (3) (ウ) (4) (エ)



問29 他の水上オートバイの曳航えいこうを始める場合の注意事項について述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

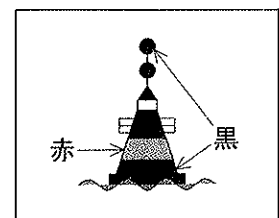
- (1) 曳航ロープは、自船のスターンアイに結ぶようにする。
- (2) 転覆しないように、できるだけ高速で引き始めるようにする。
- (3) 曳航ロープがジェットインテークに吸い込まれないように注意する。
- (4) 後方ばかりを見て、周囲の安全確認がおろそかにならないように注意する。

問30 流れの強い水路で一定の針路を保って走行するためには、何を目安にするとよいか。次のうちから最も適したものを選び。

- (1) 1物標の方位線 (2) 2物標の重視線 (3) 前方の海岸線 (4) 船首の延長線

問31 右図に示す灯浮標について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。ただし、赤、黒は標体の塗色を表す。

- (1) 水源に向かって、この灯浮標の右側に可航水域があることを示す。
- (2) 水源に向かって、この灯浮標の左側に可航水域があることを示す。
- (3) この灯浮標の位置に障害物が孤立してあることを示す。
- (4) この灯浮標の位置が航路の中央であることを示す。



問32 次の海図図式のうち、「急潮」を表すものはどれか。

- (1)  (2)  (3)  (4) 

問33 エンジン始動時の注意事項について述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

- (1) キルスイッチコードは、始動前に必ず身体の一部に装着する。
- (2) 暖機運転が必要となるため、スロットルを大きく開けて始動する。
- (3) 急発進防止のため、シフトの付いた機種は、後進や中立の位置にしてから始動する。
- (4) 始動後は、冷却水点検孔から冷却水が排出されていることを確認する。

問34 エンジンの冷却水系統を洗うときの要領について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) エンジンを始動する前に、十分に水道水を注水しておく。  
(B) ある程度注水したら水道水を止め、エンジンをアイドリング状態で15分程度運転する。
- (1) (A)のみ正しい
  - (2) (B)のみ正しい
  - (3) ともに正しい
  - (4) ともに誤っている

問35 走行中、エンジンがオーバーヒートしているときに見られる現象として適当でないものは、次のうちどれか。

- (1) 警告ブザーが鳴ったり警告ランプがついたりする。
- (2) エンジンから焦げ臭いにおいがする。
- (3) 燃料計の針がE(EMPTY)をさす。
- (4) 冷却水点検孔からの排出水量が極端に減る。

問36 「くもり」を表す天気記号(日本式)は、次のうちどれか。

- (1) ● (2) ◎ (3) ⊙ (4) ⊗

問37 気温と風の関係について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 気温が上昇すると、周囲から風が吹いてくる。
- (2) 昼間は陸上より海上の気温が高くなり、陸風が吹く。
- (3) 2地点間に気温の差が生じると、気圧差が生じて風が吹く。
- (4) 2地点間の気温差が大きいほど強い風が吹く。

問38 <sup>ちようせき</sup>潮汐及び潮流について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 沖合での潮の干満は、水面を見ただけでは判断できない。
- (2) 春の新月又は満月の頃は、干満の差が大きい。
- (3) 潮流は大洋では弱く、<sup>わんこう</sup>湾口や水道などでは強い。
- (4) 潮流の流向が北のとき、北風が強くと流速はあっさり速くなる。

問39 水上オートバイによる海難事故の種類とその防止対策を示した次の組合せのうち、適当でないものはどれか。

- (1) 「浸水」…… 水上に降ろす前に、ドレンプラグを確実に閉めておく。
- (2) 「衝突」…… 他船を早期に発見するため、前方の見張りだけに集中する。
- (3) 「機関故障」…… 出航前の点検を適切に行い、浮遊物等は避けて走行する。
- (4) 「乗揚げ」…… 当日の<sup>ちようせき</sup>潮汐を調べておき、危険な水域へは近寄らないようにする。

問40 小型船舶用信号紅炎について述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

- (1) 川のみを航行区域とする場合には法的な積込みの義務はないが、できる限り持っていく。
- (2) 携帯電話を備えていれば法的な積込みの義務はないが、できる限り持っていく。
- (3) 非常時に十分な役割を果たすよう、保管方法に注意し、常に有効期間内のものを積み込む。
- (4) 燃焼時間が数時間あるので、早く発見されるよう、遭難と同時に点火する。